



今年で何回目の年女だったかな？（詳細はP8）

# やすらぎ

題字：佐藤喜次さん筆（特養住民）

## 主な内容

役員改選のお知らせとご紹介	P 3
シリーズ「在宅支援を考える」	P 4
ぶなの園の「ゆく年くる年」	P 5
第一小学校キャップハンディ体験	P 6
和賀川	P 6

No. 38

2008 新年号

平成20年1月15日発行



理事長  
深澤 貞夫  
(太田)

理事  
(敬称略)

# 法人役員が改選されました

任期満了に伴い法人役員が改選され、理事8名、監事3名、そして評議員17名が選任されました。地域福祉の中核としての期待にこたえるべく、この新体制で健全かつ質の高い事業運営に努めて参ります。よろしくお願い申し上げます。

【理事・監事任期】 平成19年12月3日～平成21年12月2日 (2年間)

【評議員任期】 平成19年11月26日～平成21年11月25日 (2年間)



理事  
高橋 勝  
(太田)



理事【施設長】  
高橋 一雄  
(蛭山)



理事  
佐藤 武  
(新町)



理事  
近藤 英三  
(猿橋)



理事  
石井 倫彦  
(川舟)



監事  
三浦 浩信  
(内の沢)



監事  
田中 正彦  
(泉沢)



監事  
高橋 幸一  
(蛭山)



理事  
真壁 信男  
(上野々)



理事  
広瀬 勉  
(貝沢)

監事  
(敬称略)

渡	和	米	南	深	照	高	高	高	高	高	管	坂	小	久	加	大
辺	泉	澤	川	澤	井	橋	橋	橋	橋	橋	原	卷	森	保	藤	島
哲		一	賢	廣		幸	正	松	昭	巧	潤	一	良	茂	和	
哉	隆	男	一	見	満	夫	夫	宏	榮	男	子	彦	子	茂	久	
(西)	(飯)	(泉)	(湯)	(太)	(驚)	(下)	(湯)	(七)	(安)	(猿)	(内)	(大)	(大)	(新)	(大)	
沢)	豊)	沢)	本)	田)	之)	前)	田)	内)	ヶ)	橋)	沢)	志)	志)	町)	野)	

やすらぎ会評議員 (敬称略)

# 年頭にあたって

家族・地域に信頼され、利用者によりよく、みんなに  
よろこばれる福祉の向上に努めて参ります。



特別養護老人ホームふなの園  
施設長 高橋 一雄

あけましておめでとうございます。新しい年の門出を皆さまとともに慶びたいと思います。さて、たび重なる制度の改定による介護保険導入の変革期が訪れるなど大変厳しい年が続いています。公設民営の施設として住民の願いにこたえて参りました誇りと自信、責任のもと、新しい年も、役員力を結集して安定した経営のために努力して参りますので、引き続きご支援ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

介護保険事業を展開して十年目を迎えましたところへ、経済のグローバル化と云うことでしょうか、経済の開放、規制の緩和、民営化論がはやりとなり、施設その他を無償で譲渡するので、これからは自分の力で経営するようになると町から要請がありました。私どもも利用者の皆さまも互いに厳しさが求められる時代になりますが、ご理解とご協力をお願いします。

経済のグローバル化そのものには、善悪のラベルは貼られてはいませんが、そこには光と影の部分が顕著になりつつあります。富の集中もすすみ、格差も驚くべきスピードで広がっています。格差の広がった社会というのは公平公正な社会ではありません。そのよ

うな社会にあつては、弱者は肩身の狭い思いで生きなければなりません。医療や福祉、介護の社会まで格差を生じさせてはなりません。公平と公正と正義の通る、格差社会のひずみをただした、弱者に優しい施策のあることを願うものです。今年はまだにその分岐点になるかもしれない。

先達がすすめて参りました福祉の思想が、世の中に役に立つ「沢内らしさ」「西和賀らしさ」として、貧乏であつても地域の人びとと仲がよく上手につきあつて参りたい。七千町民の叡智をいただきながら、更なる安心、快適、福祉充実を図り町民の幸せのために貢献できるように取り組んで参ります。

本年も変わらぬご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

シリーズ  
在宅支援を考える 3  
生活支援ハウス



大みそかの予定について相談する入居者の皆さんと職員

活しております。雪かきができない、買い物不便、ストーブの石油を運ぶのが大変、などといった声が、冬の生活の難点として聞かれます。生活支援ハウスには週一回「よろずや」さんが来てくれるほか、牛乳屋さん、パン屋さんが週二回来てくれてます。また、健生号での通院、配食弁当の利用、ヘルパーや併設デイサービスの利用など、様々な資源を活用しながら生活されています。

地良く暮らせるよう、職員も加わっている話をしながら親睦を深めています。今年初めて入居された二名の方は、「何もわからねえども、みんな親切に教えてくれるからありがたいよ」と話してくださいました。昨シーズンとは違い、今年の冬は早くから雪が降り寒い日が続いています。暖かい春が来るのを楽しみに待ちながら、入居されている六名の皆さんと私たち職員は、この冬を賑やかに過ごしたいと思います。

かたくりの園介護員 高橋浩子

こいで暮らせば  
寒い冬でもあったか、賑やか

一人暮らしや高齢者世帯のお年寄りにとって、西和賀の長く厳しい冬は大きな不安となっていることでしょう。かたくりの園で実施している「生活支援ハウス」事業

好評なのが数年前に湧いた「志賀温泉およねの湯」です。入居の方からは「温泉だから、温まっているなあ〜」などという声をいただいております。また、生活支援ハウスを利用されている方の集会を毎月一回実施しています。会の名称は「山茶花(さざんか)の会」。みんなが心



年末大掃除

十二月八日、  
十二月二八日

年末と言えば大掃除、気持ちよく新年を迎えるための大事な作業です。特養では十二月八日に家族会の皆さんによる大掃除を行ない、また職員では十二月後半の清掃週間で一年間の汚れを取り除きました。毎年ながら、日常の整理整頓や掃除の大切さを痛感させられます。



ご家族の協力で居室内が明るくなりました

ぶなの園の  
ゆく年くる年

2007  
2008



願いをこめてダルマ開眼

新年交賀会

一月一日

たまご酒で乾杯して手作りダルマ開眼、新春恒例の交賀会です。年女で今年九六歳を迎える高下カヨさん、そして施設長が片目ずつ開眼しました。「今年一年、みんなが健康で楽しく過ごせますように」との願いをこめて。おせち料理もおいしくいただき、お正月気分を満喫した元旦でした。

住民忘年会

十二月十九日

平成十九年のぶなの園忘年会の目玉は川舟保育所の子どもたちによるステージでした。特に素晴らしかったのが「笠地蔵」の演劇。かわいさに加えて役になりきっている姿が微笑ましく、忘年会とは言うものの、ぶなの園住民にとっても忘れられない一日になったようです。



「笠地蔵」を熱演してくれた川舟保育所園児たち



職員に見送られ笑顔で帰省する住民

お正月帰省

年末〜年始

離れて暮らしている家族や親族が集まって、賑やかに過ごすお正月の雰囲気はいいものですね。ぶなの園でも、数名の住民がお正月帰省をしております。お見送りする時や、自宅からぶなの園に戻られた際の表情は生き生きとしており、「家族」の滋養強壮効果は絶大です。

# 第一小学校総合学習 キャップハンディ体験

ぶなの園住民と第一小学校六年生は今年度、継続的にいろいろな交流をしてきました。これは学校の総合的な学習の一環でもあり、ぶなの園職員が学校に向いて授業をしたり、簡単な介護体験なども行ないました。

五回目の学習となる十一月二日は、ぶなの園で「キャップハン

ディ」の疑似体験をしました。アイマスクやおもりを着けての歩行、特殊メガネで白内障の状態に近づけて新聞を読んだりするなど、初めての体験で楽しそうな雰囲気もありましたが、実際に大変な思いで生活している方のことを思うと、他人事ではな

たのでご紹介いたします。二名の児童から感想をいただきました。いろいろな表情も見られました。



様々な障害を疑似体験しました



沢内第一小学校 6年 廣田 慧子

視覚障害体験は、自分が今、どこにいるのかわからなくなって、とても怖かったです。とくに階段やスロープは、つえがないと、どこから歩きはじめればいいのかわからないので、すごく歩くのが怖くなったし、不安になりました。つえを使うと、前に何があるか、とかがわかりやすくて便利でした。

高齢者体験では、足がいつもより重くて歩きにくかったり、新聞などを読みたくても字が点に見えたりして、とても大変でした。私の家のぼっちゃんも、あまり足が自由ではないから、いつも、私が体験したような重い足で歩いていると思うと、大変なんだなと思いました。

体験学習を通して、お年寄りの方の大変さ、おたがい協力し合うことの大切さがわかりました。



沢内第一小学校 6年 佐々木 拓哉

今回のぶなの園訪問では、キャップハンディ体験をしました。

初めに視覚障害体験をしました。やってみると前が見えないので、周りを気にしてはやく歩くことができませんでした。

次につえを使ってやってみると、うまくつえを使えばあまり周りを気にしなくても歩くことができました。やってみて、目が見えない方は、つえを使って点字ブロックの上を歩くので、点字ブロックの上にはいないようにしたいと思いました。

次に、高齢者体験をしてみました。するといろいろと不便なところがあったので、お年寄りで困っている人がいたら声をかけたいです。

今回はいい体験をすることができました。

## 若さあふれる 弁論発表!

やすらぎ会文化祭



明るく元気に発表してくれた中学生の皆さん

十一月十日、十一日に開催された文化祭は、中学生による弁論発表が大好評でした。

これは、「私の主張」北上地区大会に出場した沢内中二名、湯田中一名の生徒さんに、やすらぎ会文化祭で同じ内容の発表をしてほしいとお願ひして実現したものです。日々の生活で感じたことが素直に表現された内容で、発表のしかた

も若々しく堂々たるもの。このよきな発表を聞く機会はなかなかないので、会場の皆さんは大変興味深かったようです。

その他にオープニングの川舟田植え踊り、湯田中学校一学年の合唱、沢内民謡保存会とやよい会の皆さんによるステージがあり、コーラスリリシヤンの皆さんは美しいハーモニーで会場を包み込んでくれました。

最後はリリシヤン、ぶなの園住民、そして会場の皆さんで「ふるさと」の大合唱。やすらぎ会文化祭にふさわしいほのぼのとした雰囲気さらに演出し、二日間の幕を閉じました。



会場全体で「ふるさと」の大合唱

## あゆみ

平成19年 9月~11月

9月1日	総合避難訓練 一・二丁目住民懇談会	9月10日	主任会議 第一小総合学習 西和賀高校窓拭きボランティア おはなし「きらきら」
3日	課長会議 入所検討委員会 久保サメさん特養退所 (ご逝去)	10月10日	情報公表訪問調査 日立市民生委員視察訪問 おはなし「きらきら」
4日	課長会議 入所検討委員会 佐藤三郎さん特養入所 (湯本)	11月10日	主任会議 第一小総合学習 第一小総合学習 第一小総合学習
6日	入所検討委員会 佐藤三郎さん特養入所 (湯本)	11月12日	課長会議 おはなし「きらきら」
10日	入所検討委員会 佐藤三郎さん特養入所 (湯本)	11月16日	課長会議 おはなし「きらきら」
11日	入所検討委員会 佐藤三郎さん特養入所 (湯本)	11月17日	課長会議 おはなし「きらきら」
18日	主任会議 住民の健康を祝う集い 高橋ハルノさん特養退所 (長期入院)	11月20日	ホーム喫茶 藤本タヘ子さん特養退所 (ご逝去)
19日	主任会議 住民の健康を祝う集い 高橋ハルノさん特養退所 (長期入院)	11月22日	法人内部監査 北島トミさん特養退所 (長期入院)
20日	主任会議 住民の健康を祝う集い 高橋ハルノさん特養退所 (長期入院)	11月23日	第一小総合学習 入所検討委員会 高下カヨさん特養入所 (高下)
21日	主任会議 住民の健康を祝う集い 高橋ハルノさん特養退所 (長期入院)	11月24日	やきいも祭り 第一小総合学習 ヘルパー家族懇談会 一・二丁目住民懇談会
25日	入所検討委員会 北島トミさん特養入所 (新町)	11月26日	理事會 評議員會 評議員會 評議員會
26日	入所検討委員会 北島トミさん特養入所 (新町)	11月27日	理事會 評議員會 評議員會 評議員會
27日	入所検討委員会 北島トミさん特養入所 (新町)	11月28日	理事會 評議員會 評議員會 評議員會
28日	入所検討委員会 北島トミさん特養入所 (新町)	11月29日	理事會 評議員會 評議員會 評議員會
10月1日	事例研究発表會 おはなし「きらきら」	11月30日	理事會 評議員會 評議員會 評議員會
2日	課長会議 入所検討委員会 入所検討委員会	12月1日	理事會 評議員會 評議員會 評議員會
5日	課長会議 入所検討委員会 入所検討委員会	12月2日	理事會 評議員會 評議員會 評議員會

## 和賀川



かたくりの園  
所長  
高橋 公男

この数年、福祉の仕事から去って行く若い人や福祉系の学校を卒業しても他業種へ就職する人が増えているようだ。福祉の仕事は給料が安く仕事もハード、休暇も思うように取れないなどマイナス要因も多いが、若い時から人に喜ばれ、感謝され、社会に直接貢献できる、大変意義深い仕事であることも確かである。だからこんな私でも三十年間「福祉一筋」に勤めることができたかもしれない。

■若い人たちが福祉に対しプライドを持って仕事をしてもらうためには、「よい職場風土」を大切にしていかなければならない。福祉は人を相手として、人の手によって行なわれる対人サービスの特徴として、その質がサービスの向上に直結する。職員の実質能力の向上は、そのままサービスの質に結びつくと考えなければならぬ。厳しさの中にも、人のぬくもりを感じられる職場風土づくりをめざしたい。

表紙の写真

今年はねずみ年。表紙写真のお二人は年女を迎えられた高下カヨさん(右)と南川トミさんです。年齢は毎年必ず一つずつ重ねていきますが、自分の干支を迎えると改めて時の流れの速さを実感するものです。ぶなの園ではお二人の他に斎藤サタさん、岩井川トミさん、刈田キサさんがねずみ年で、年女5名で記念撮影をしました。



- 特別養護老人ホームぶなの園
- デイサービスセンターぶなの園
- ホームヘルプステーションぶなの園
- 西和賀介護相談室

西和賀町沢内字太田2地割135番地  
 電話 0197-85-2322  
 FAX 0197-85-2317

□高齢者生活福祉センターかたくりの園  
 西和賀町沢内字大野17地割140番地1  
 電話 0197-85-3388  
 FAX 0197-85-3389

(発行・編集)  
 社会福祉法人やすらぎ会  
 広報委員会

平成19年9月～11月

【ご寄付】

・川舟田植え踊り保存会様

【ご寄贈】

- ・西和賀町商工会女性部様
- ・西和賀町農業委員会様
- ・細川洋一様
- ・南川幸一様
- ・荻田栄治様
- ・ワークステーション湯田・沢内様
- ・北上地区看護協会様
- ・高橋恵美子様
- ・真壁信男様
- ・猿橋小学校様
- ・藤原礼子様
- ・深澤ノリ様

【ボランティア等】

- ・どれみの会様 (特養支援)
- ・泉沢婦人会様 (健康を祝う集い)
- ・太田婦人会様 (ホーム喫茶)
- ・西和賀高校生徒様 (窓拭き)
- ・高橋吉二様 (車イス修理)
- ・高橋佑子様 (デイ支援)
- ・高元睦子様 (デイ支援)
- ・八重樫さとみ様 (デイ支援)
- ・佐々木エリ子様 (デイ支援)
- ・菊池洋子様 (特養、デイ支援)
- ・北上地区看護協会様 (特養交流)
- ・ばっけの会様 (唄、踊り)
- ・高橋昭士・和子様 (唄、踊り)
- ・高橋睦子様 (デイ支援)
- ・深澤ノリ様 (デイ支援)

あたたかい善意を頂戴し  
 厚くお礼申しあげます

編集後記

広報を担当するようになってから、以前よりも新聞に目を通す時間が多くなったような気がします。記事の内容を凝縮した見出しの付け方。全体の雰囲気伝える写真の撮り方。読みやすく配慮した割付けなど、今までは気にも留めなかつたことに目がいくようになってきました。

気付いたのは、夕刊が結構おもしろいということ。読者の投稿欄があつたり雑学的な知識を得ることができたりして、集中して読んでしまいます。相変わらず社会面や政治、経済の記事は一秒読みです。

W・T